

へきけんニュース

ホームページ http://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/
メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp
☎ 0154-44-3291 FAX 0154-44-3292



北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター

10月から釧路校の「へき地校体験実習Ⅱ・Ⅲ」が始まりました。

【1週間実習と2週間実習の区別】

10月から「へき地校体験実習Ⅱ・Ⅲ」の実習が始まりました。「へき地校体験実習Ⅰ」は1週間実習で、札幌校・旭川校・釧路校の3キャンパスで実施しています。さらに釧路校では、「へき地校体験実習Ⅱ・Ⅲ」を3年次後期以降に2週間で実施しています。このⅡを2週間で実施する目的は、主免教育実習が終わった学生が、教育実習の基本的な力を習得した上で、さらにへき地・小規模校に対応した実践力を身につけるために実施しているものです。

【へき地校への定着を意図した2週間実習】

北海道はへき地・小規模校が圧倒的に多いために、北海道教育大学には教育界よりへき地校で活躍できる人材の養成が期待されています。そのため、「へき地校体験実習Ⅱ・Ⅲ」を2週間で実施し、へき地校での指導力を向上させるようにしています。また現地で2週間宿泊する理由は、都市部の生活ではなく現地の生活に慣れさせ、その地域に根ざせる教師を育成するためです。

【2週間実習の生活準備のプロセス】

へき地校体験実習Ⅱ・Ⅲは、主に校区内や公営住宅を借りて2週間実施するために、概ね次のような生活1～5の準備を経てへき地校に向かいます。

1 大学には、洗濯機・ストーブ・冷蔵庫などを保管しています。⇒



2 洗濯機等の生活資材の準備をします。⇒



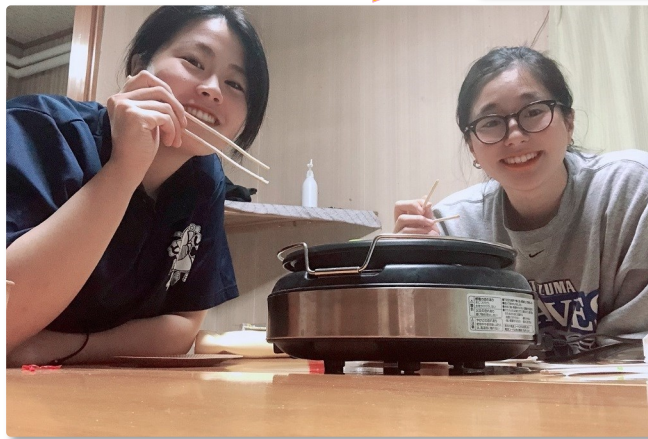
3 輸送トラックに積み込み、現地に運びます。⇒



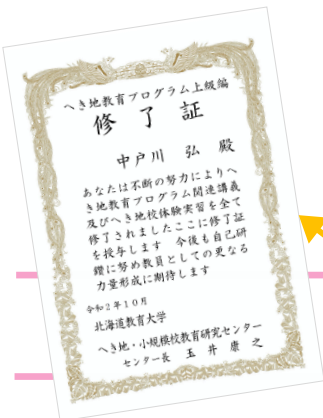
4 宿舎で生活資材をセットします。⇒



5 そして、共同生活を始めます。



プログラム修了証・上級編



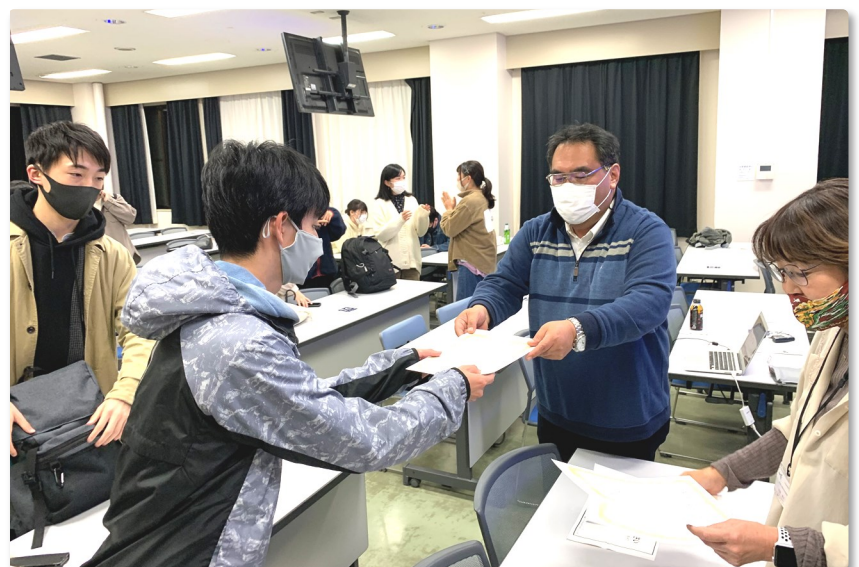
へき地教育プログラム修了証を発行します

今年度から、「へき地教育論」等の講義を受講し、へき地校体験実習を終えた修了生に、「へき地教育プログラム修了証」を発行することにしました。へき地教育プログラム修了証「一般編」は、講義+1週間のへき地校体験実習を終えた学生を対象に渡しています。

修了証「上級編」は、講義+2週間のへき地校体験実習を終了した学生を対象に渡しています。

この修了証は、学生がへき地教育を実践的に体験したことの証しですが、同時に将来的に少しでもへき地教育を先駆的に進める可能性を示す証しでもあります。

へき地校には教員が定着しにくいと言われていますが、へき地教育を担える意識と力量を学生時代に少しでも高めたというプライドと担い手意識は持って頂きたいと思っています。



札幌校前田先生から修了証を受け取る学生たち

学校の小規模校化と実践研究を広げるへき研センター

旭川校へき研センター運営委員 高瀬 淳也

10月1日、北海道教育大学旭川校に着任いたしました高瀬淳也と申します。着任後、すぐにへき地・小規模校教育研究センター（以降、へき研センター）のお話をうかがい、2週間後には名簿にセンター運営委員として名前を記載いただき光栄です。

私は、札幌校を卒業後、約20年にわたり十勝管内で小学校教諭として3校に勤務しました。その中で、鹿追町立上幌内小学校は全校15名程度のへき地・小規模校で、この学校に勤務している時にへき研センターに大変お世話になりました。

【少人数でも取り組める場の工夫】

私が、鹿追町立上幌内小学校に赴任して一番悩んだことは、「3人で、どうやってソフトバレーボール（ネット型）の授業を進めたらいいのか」「5人で、ソフトボール（ベースボール型）のゲームが成立させられるのか」というように、人数が少ないことによって学習活動に制限が生じるという点でした。一時は、全校で一緒に体育の授業を試みましたが、45分の授業で小学校学習指導要領解説体育編に示された内容を学年ごとに指導することが難しく、少人数でも学級単位で体育の授業ができるように教材の開発を行ってきました。上幌内小学校に勤務した5年間、授業がうまく進められず子どもたちにずいぶん迷惑をかけてしまいましたが、「学習課題の明確化」と「少人数でも取り組める場の工夫」の2つの視点から体育の教材開発を行うことで、複式学級でも一定の学習成果を得ることができました。

【へき地教育を学ぶ有効な情報源としてのへき研センター】

現在、複式学級では学年別指導法という独特の指導法を中心に授業が展開されています。しかし、へき地・小規模校で開催される研究大会は数が限られており、教育現場において学年別指導法などを学ぶ機会は、決して多いとは言えません。へき研センターでは、へき地・小規模校の優れた実践を豊富に掲載した「へき地教育研究」を発刊し、「へき地・複式学級における学習指導の手引」とともに、先生方にとってへき地教育を学ぶ有効な情報源となっております。私も、教材開発をはじめ、日常の授業実践においてずいぶんお世話になりました。

我が国は少子化の影響で学校の小規模化が進んでおり、少人数学級の指導法に関わる知見が全国的に必要となることが予想され、へき研センターが担う役割がますます大きくなることが考えられます。これからセンター運営委員の一人として、へき地教育がさらに発展していくよう、これまでの経験を生かしながら全力で取り組んでいきたいと思っております。ご指導のほどよろしく願いいたします。



平成26年度 高学年ベースボール型の授業実践

へき研センターで開催された歴代の ワークショップ・フォーラムをご紹介します。

へき地・小規模校教育推進フォーラムについて、昨年までは、“〇〇年度第一回・第二回”と標記していました。令和2年度からは、平成18年度のキャンパス再編及びセンター再編により、釧路校にへき研センター事務局が移転されてからの通算回数としました。以下、平成18年度以降開催された歴代のワークショップ及びフォーラムをご紹介します。

No	開催日	名 称	会 場
1	H18. 3. 6	平成17年度特色GPワークショップ「小さな学校、大きな感動～へき地校教育実習での体験と学び～」	岩見沢校
2	H19. 3. 3	平成18年度特色GPワークショップ「小さな学校、大きな感動～へき地校教育実習での体験と学び～」	岩見沢校
3	H19.12. 1	特色GPフォーラム「へき地教育と教師教育」	センチュリーロイヤルホテル
4	H20.11. 7	平成20年度特色ある大学教育支援プログラム「へき地教育フォーラムin十勝」	十勝幕別温泉グランヴィリオホテル
5	H21. 7.18	釧路校創立60周年記念協賛事業「複式授業をどう指導するか」	釧路校
6	H22. 3. 6	平成21年度第2回へき地教育フォーラム	釧路校
7	H23. 2.16	平成22年度へき地・小規模校教育フォーラム	釧路校
8	H24. 3. 3	平成23年度へき地・小規模校教育フォーラム	北海道立道民活動センター
9	H25. 3.25	平成24年度へき地・小規模校教育フォーラム	札幌駅前サテライト
10	H26. 3. 8	平成25年度国立大学改革強化推進事業(HATOプロジェクト)へき地・小規模校教育フォーラム	札幌アспенホテル
11	H27. 2.13	平成26年度国立大学改革強化推進事業(HATOプロジェクト)へき地・小規模校教育フォーラム	釧路プリンスホテル
12	H28. 2.14	平成27年度国立大学改革強化推進事業(HATOプロジェクト)へき地・小規模校教育フォーラム	釧路プリンスホテル
13	H29. 3. 7	平成28年度国立大学改革強化推進事業(HATOプロジェクト)へき地・小規模校教育フォーラム	札幌駅前サテライト
14	H30. 3. 8	平成29年度へき地・小規模校教育フォーラム	札幌駅前サテライト
15	H30.11.17	平成30年度第1回へき地・小規模校教育推進フォーラム	釧路校
16	H31. 3. 7	平成30年度第2回へき地・小規模校教育推進フォーラム	札幌校
17	R1. 8.28	令和元年度第1回へき地・小規模校教育推進フォーラム	札幌校
18	令和2年12月3日・17日	『第18回へき地教育推進フォーラム』開催します！	札幌校

申込受付中！